

なかつか 亮



近隣区での健康診断も 助成の対象に 日本共産党

区境で暮らす品川区民が、他区の病院で健康診断を受けても、区内と同じく助成の対象にしてほしい！

大田区など他区と接している地域は区境ゆえ行政サービスに不都合があります。その一つが健康診断。「かかりつけ医」が大田区にある場合、品川区の健康診断の助成対象から外され、自己負担になります。

共産党は「区内と同じく助成の対象に」と主張。品川区も「検討」を約束しました。

区境の悩み

私の家は西大井5丁目ですが坂を下った先は大田区です。このように隣が大田区となる町目は大井7丁目、西大井3・



4・5丁目など。こくした区境で行政サービスの不都合がおきています。

例えば、小中学校の越境入学中止や区役所・地域センターが遠方で申請が大変など。そして今回の健康診断です。

大田区はダメ

品川区による健康診断は40歳からの特定健診や75歳以上の健康診査、各種がん検診、妊婦健診などたくさんあります。

対象年齢の区民は、だれでも受けることができ、費用は無料や一部自己負担です。ところが、この

「かかりつけ医」が区内ではなく、大田区など他区の場合、区内では無いからと健康診断の助成が対象となり自己負担に。日常の治療などは、区内・外に問わず負担は同じですが、健康診断は、区内の病院だけが対象とされています。

区境で暮らす区民からは「どうしてダメなのか。事務を工夫し改善してほしい」との声があがっています。裏へ

新年度予算に盛り込まれた成果を連載してきましたが、今回は「一歩前進」した問題を取り上げます。

いつもの病院で 診断を受けたい

健康診断は働いている職場や指定された病院で受けますが、国保や後期高齢者医療制度に加入している方は地域の病院で健康診断を受診します。日頃から自分の体の調子を理解し過去のカルテもある「かかりつけ医」での受診は大切なことです。ところが区境の住民は「かかりつけ医」が他区になることがあり、助成

対象から外れてしまします。西大井4丁目のAさんは「私は喘息なので遠くの病院では通えません。だから近所の病院が、かかりつけ医。それが大田区だったということなんです。



他区でも区内と同じように健康診断の助成対象にしてほしい」と話します。共産党は、区境での健康診断について、区民の健康を第一に考え大田区など近隣区でも助成対象とするよう改善を求めました。

中野区では接する練馬区、新宿区、杉並区と協定を結び、健康診断の相互乗り入れを実施。品川区でも妊婦健診は、区外の病院（他県も可）でも

助成対象としています。事務を工夫すれば十分可能なことです。

「できない」が一転、「検討する」と前進

いままで品川区は「他区と健診内容が違うので無理」と拒否してきましたが、今回の予算議会でも「検討」を約束。（左参照）実現に向け一歩前進しました。随分と時間がかかりましたが、一日も早い実現に向け頑張りまなかつか亮

共産党が追及 変化する区答弁 「健康診断の改善を」

2002年3月 品川区答弁
「どうしても自治体の境がございます。そういう現象がおきる場合があります。たしかに相互乗り入れは望ましい部分もあると思う」



2004年3月 品川区答弁
「各区で健診内容が違うので、相互乗り入れは現状ではできない。（他区と連絡を取っても）事実上、それは無理です。」



2010年3月 品川区答弁
「今後の研究課題にしたい」
「近隣区との話し合いが必要です。関係する区に話をしていきたいと思います。」

今月の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

5月28日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**